

「オファー型協力」について

1. 狙い

- 2023年6月に改定した開発協力大綱で新たに打ち出した施策。外交政策上、戦略的に取り組むべき分野において、ODAに加えて公的資金（OOF）や民間資金も含む形で、日本の強みを活かした魅力的な協力メニューを途上国に能動的に提案し、相手国との「共創」により開発目標を達成する。
- **途上国の開発課題の克服と経済成長にとどまらず、これを取り込んで日本の課題解決と経済成長にもつなげていく狙いあり。**

2. 「オファー型協力」の特長

- 「対話」と「共創」：我が国としての戦略（取り組むべき分野、達成すべき目標など）を定めた上で、選定した「対象国」との対話と協働を通じて、①開発協力目標、②開発シナリオ、③協力メニュー（ODA案件及び他の投入要素の組み合わせ）を策定し、相手国との共創によってその実現を目指す。
- 「パートナーとの連携」：JBICなど、ODA以外のOOFの関与を強化。予見可能性を高めることにより、**民間資金の動員を促し、官民の資金のシナジー効果**を生み出すとともに、地方自治体や市民社会などの様々な主体を開発のプラットフォームに巻き込むことで総合的な開発効果を最大化する。

3. 戦略文書

- 外交政策を踏まえて資源と人材を集中的に投入し、戦略的に取り組む分野を選定し、その内容を「**戦略文書**」として公表（2023年9月）。
- 国際情勢や外交課題の変化を踏まえて同文書を改定、**戦略分野を追加**（2025年8月）。

4. 戦略分野（概要）

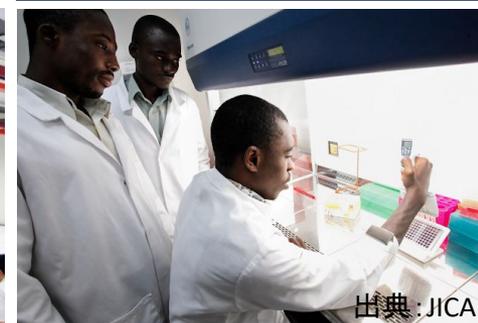
- **気候変動への対応・GX・防災**：アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）構想の実現等を通じ、脱炭素化やエネルギー移行を支援。 仙台防災枠組も踏まえ、災害リスクの軽減や事前防災投資を推進。 途上国との**共創の中で我が国の技術も活用。**
- **経済強靱化**：重要資源の国際供給網や産業の多角化への支援等を通じ、世界経済の安定と成長、そして我が国経済への裨益につながる好循環を確保する。
- **デジタル化の促進・DX**：経済発展と社会課題の解決を両立する安全性の高いデジタルネットワークを構築する。 協力を通じ、**我が国の知・技術の強化にも貢献。**
- **保健**：健康安全保障のための予防、備え及び対応への官民による戦略的投資を促進。 **我が国の企業を含めた国際的な医療・保健用品の供給体制・サプライチェーンの安定性と公平性を推進。** 保健財政と保健人材確保の持続可能性を高めるべくバイ・マルチの連携を進め、我が国の知見を活かした協力の拡大と定着化を図りつつ、途上国と共にユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成を目指す。

気候変動・防災：AZEC構想の実現を通じた脱炭素化・エネルギー移行支援、災害リスク軽減や事前防災投資の推進

経済強靱化：産業の多角化を通じたサプライチェーンの構築支援

デジタル化：安全性の高いデジタルネットワークの構築支援

保健：健康安全保障のための予防、備え及び対応、保健財政と保健人材確保を通じたUHCの達成



ナイジェリア：スタートアップ支援による社会課題の解決と経済強靱化 協力メニュー案（オファー型協力）

令和7（2025）年8月
外務省国際協力局

開発目標：

ナイジェリアの国家開発計画上の戦略課題である産業多角化・経済改革、同国政府が国家デジタル経済政策・戦略において掲げる「デジタル技術活用、経済多角化」、さらにスタートアップ（SU）振興のため2022年に同国が策定したナイジェリアSU法を踏まえ、ものづくりや社会課題解決に携わるSUへの資金供給を通じ、イノベーションによる社会課題の解決と新規産業創出による産業多角化を図り、経済強靱性を高める。それにより、日本とナイジェリアとの間で相互に相乗効果が発揮されるようにする。

開発シナリオ：

ナイジェリアにビジネスチャンスを見出す起業家やSUにとっての課題である初期投資や資金調達を後押しするとともに、SUが相互に連携・協働し、イノベーションを生み出すための環境整備に向けた協力を実施することで、同国の産業育成・経済強靱化に貢献する。こうした支援を通じてナイジェリア発SUの成長を図ることにより、日本企業にとっての潜在的パートナーの拡大や日本企業とナイジェリア企業の更なる連携を促進し、同国の活力を日本経済に取り込む。

協力メニュー（関連取組を含む）：

- （1）技術協力「起業家支援・イノベーション推進アドバイザー」（個別専門家、2021年9月～2025年9月）**
SU法・政策への助言、先方政府機関が実施する現地SU向けビジネスプラン改善支援プログラムの実施支援等を行う。
 - （2）無償資金協力「アブジャにおける起業家支援施設整備計画」（16.34億円）（2025年4月～2028年2月）**
デジタル工作機材等を有するSUハブを新設し、ものづくりに関わるビジネスの創出機会拡大及びSU関係者の連携促進を図る。
 - （3）基礎調査「アフリカ地域ソーシャル・スタートアップ支援メカニズム具体化に向けた情報収集・確認調査」（実施中）**
社会課題を解決するソーシャルSUの育成を促進するエコシステムの形成・強化に必要な支援を検討する。
 - （4）基礎調査「ソーシャル・イノベータ・ハブ（SIH）」（2024年8月～9月及び2025年2月～3月仙台市においてパイロット事業実施）**
ナイジェリアを含む開発途上国のSU起業家を招聘し、日本の大学研究室/SUと連携して日本の技術・知見を活用した途上国の課題を解決するビジネスを開発する。
 - （5）無償資金協力「社会課題に取り組むスタートアップ企業を支援する環境整備計画」（31.42億円）（2025年4月～2038年6月）**
社会課題解決に取り組むSUを支援するため同国政府により設置されるファンドに資金を供与するとともに、SUの持続的な成長に資するエコシステム形成のために必要な技術的な支援を行う。「民間資金動員促進型無償資金協力」の第一号案件。
 - （6）海外投融資「アフリカ新興企業イノベーション支援事業」**
日本とナイジェリアの合弁会社がファンドマネージャーを務める投資ファンドへの出資を通じアフリカの新興企業に対し資金を供給する。アフリカ全地域が対象。
- （関連）J-Bridge（JETRO）及び日本アフリカ産業共創イニシアティブ（JACCI）（経産省、JETRO）
日本企業と現地スタートアップとの連携によるアフリカでのビジネス促進の支援。

ナイジェリア：スタートアップ支援による社会課題の解決と経済強靱化 協力メニュー案（オファー型協力）

令和7（2025）年8月
外務省国際協力局

★スケジュール及び資源投入量（想定）：

調査

無償資金協力

技術協力

海外投融資

関係省庁・国際機関等

～2023	2024	2025	2026	2027
-------	------	------	------	------

2024年
TICAD関係会合

2025年
TICAD 9

【無償資金協力】
アブジャにおける起業家支援施設整備計画（16.34億円）

【無償資金協力】
社会課題に取り組むスタートアップ企業を支援する環境整備計画（31.42億円）

【技術協力（個別専門家）】
起業家支援・イノベーション推進アドバイザー
SU法・政策への助言、先方政府機関が実施する
現地SU向けビジネスプラン改善支援プログラムの実施支援等

【技術協力（個別専門家）】
スタートアップエコシステム強化

【基礎調査・協力準備調査】
アフリカ地域ソーシャルSU支援メカニズム
具体化に向けた情報収集・確認調査
社会課題を解決するソーシャルSUの育成を促進する
エコシステムの形成・強化に必要な支援の検討

【長期研修】
スタートアップエコシステム強化

【基礎調査】
ソーシャル・イノベータ・ハブ（SIH）

2023年～進行中
【海外投融資】アフリカ新興企業イノベーション支援事業
日本とナイジェリアの合弁会社がファンドマネージャーを務める投資ファンドへの出資を通じ、アフリカの新興企業に対し資金を供給

【JETRO】J-Bridge
日本企業とスタートアップ等の海外企業の国際的なオープンイノベーション創出のためのビジネスプラットフォーム

【経産省、JETRO】日本アフリカ産業共創イニシアティブ（JACCI）
日本企業と現地スタートアップとの連携によるアフリカでのビジネス促進の支援

協力メニュー

関連

ナカラ回廊開発によるグローバル・サプライチェーンの強靱化 (広域オファー型協力) 協力メニュー (案)

令和7(2025)年8月
外務省国際協力局

開発目標: ナカラ回廊地域の輸送インフラ整備・強化及び産業振興を図り、域内の連結性強化によりナカラ回廊の鉱物資源等の輸送ルートとしての価値を高め、同地域への投資促進や雇用創出により持続的な発展を実現することを通じて、我が国の各種資源に係るグローバル・サプライチェーンを強靱化する。

開発シナリオ: ナカラ回廊の輸送インフラを整備・強化し、同回廊のグローバル・サプライチェーンを強靱化する。また、ナカラ回廊周辺地域の鉱業や農業を中心とする産業を振興し、同地域における経済成長及び資源の高付加価値化を促す。その際、南部アフリカに進出する日本企業や国際機関等の多様なアクターと連携し、開発効果の最大化を図る。

協力メニュー:

1. 物流強化

- ・対モザンビーク円借款「ナカラ港開発事業」
- ・対モザンビーク円借款「ナカラ緊急発電所整備計画」
- ・対モザンビーク技術協力「持続的な橋梁維持管理能力向上プロジェクト」
- ・対マラウイ無償資金協力「リロングウェ市幹線道路改修計画」
- ・対ザンビア技術協力「橋梁点検及び維持管理能力向上プロジェクト」
- ・南部アフリカ・調査「ナカラ港・国際回廊活用促進業務」

2. 産業振興

(1) 鉱物資源開発

- ・対ザンビア無償資金協力「経済社会開発計画(鉱石分析機材)」
- ・広域・長期研修「資源の絆」
- ・南部アフリカ・技術協力「重金属汚染に対するモニタリングシステムと人的能力の強化を通じた持続可能な鉱物開発の確立(ZAZINAMBOプロジェクト)」
- ・「銅ベルトを中心とした重要鉱物サプライチェーン分野マスタープラン策定等調査事業」(経済産業省グローバルサウス未来志向型共創等事業)
- ・対ザンビア無償資金協力「建設機械操作の技能訓練を通じた若者雇用促進計画(UNIDO連携)」

(2) 農業開発

- ・対ザンビア・マラウイ海外投融資「南部アフリカ農業バリューチェーン強化事業」
- ・対モザンビーク「ナンプラ州ナカラ回廊における農業開発支援」(国際機関(FAO)への拠出)

ナカラ回廊開発によるグローバル・サプライチェーンの強靱化 (広域オファー型協力) 協力メニュー (案)

令和7(2025)年8月
外務省国際協力局

スケジュール及び資源投入量(想定) :

調査他

無償資金

技術協力

有償資金

関係省庁・国際機関等

2024年以前 2025年 TICAD9 2026年 2027年 2028年 2029年～

【モザンビーク】円借款「ナカラ港開発事業」
(I) 2013年3月: 78.89億円、(II) 2015年5月: 292.35億円

・技術協力「ナカラ回廊経済開発戦略策定プロジェクト」(2012-2016年)

モザンビーク、マラウイ、ザンビアによるナカラ回廊開発に向けた連携協定の署名(2023年10月)

【モザンビーク】2024年3月E/N署名
無償「ナカラ緊急発電所整備計画」
69.5億円

【マラウイ】2020年9月E/N署名
無償「リロングウェ市幹線道路改修計画」33.70億円

【ザンビア】技術協力「橋梁点検及び維持能力強化プロジェクト」

【南部アフリカ】
調査「ナカラ港・国際回廊活用促進業務」

物流上のボトル
ネック解消

【ザンビア】2021年9月E/N署名
無償「建設機械操作の技能訓練を通じた若者雇用促進計画(UNIDO連携)」4.17億円

【ザンビア】2025年3月E/N署名
無償「経済社会開発計画(鉱物分析機材)」1.82億円

【南部アフリカ】銅ベルトを中心とした重要鉱物サプライチェーンマスタープラン策定調査(経済産業省)

【南部アフリカ】技術協力「重金属汚染に対するモニタリングシステムと人的能力の強化を通じた持続可能な鉱物開発の確立(ZAZINAMBOプロジェクト)」

【広域】長期研修「資源の絆」

【モザンビーク】「ナンブラ州ナカラ回廊における農業開発支援(FAOへの拠出)」100万ドル

【ザンビア・マラウイ】海外投融資「南部アフリカ農業バリューチェーン強化事業」

持続可能な
鉱業の発展

持続可能な
農業開発

物流強化

鉱物資源開発

農業開発

ナカラ回廊

(ナカラ港 (モザンビーク) ~ リロングウェ (マラウイ) ~ ルサカ (ザンビア))

【ザンビア・マラウイ】
南部アフリカ農業バリュー
チェーン強化事業
(海外投融資)

【マラウイ】
リロングウェ市主要幹線道路改修計
画
(無償資金協力)

【ザンビア】橋梁点検及び維持能力強化プロジェクト (技術協力)



【モザンビーク】
ナカラ港開発事業 (円借款)



【南部アフリカ】
重金属汚染に対するモニタリングシ
ステムと人的能力の強化を通じた持続可
能な鉱物開発の確立 (ZAZINAMBOプ
ロジェクト) (技術協力)

【ザンビア】
鉱物分析機材の整備
(無償資金協力)



【南部アフリカ】
銅ベルトを中心とした重要鉱物サプライ
チェーンマスタープラン策定調査 (経済産業
省)



- 鉄道 (既存)
- 道路
- - - 鉄道 (建設予定)
- 国境線